

## はあと通信

### 「防災教育・命の授業 平塚真一郎校長先生」

1月26日（金）、4・5・6年生を対象に、「防災教育・命の授業」が行われました。講師は今年度で3回目となる、宮城県石巻市立青葉中学校の平塚真一郎校長先生でした。平塚校長先生の紹介は以下の通りです。



平塚真一郎校長先生

#### 【講師プロフィール 平塚真一郎校長先生】

1966年宮城県石巻市生まれ。1991年から中学校社会科の教員として、宮城県内の中学校に勤務。2023年4月より青葉中学校の校長先生に。

東日本大震災で当時大川小学校6年生の長女が犠牲に。学校に勤務しながら行方不明の娘を捜索。震災から5ヶ月後に発見される。

現在は、教員として、学校事故で子どもを亡くした親として、両方の立場から、防災教育について講話を行っている。

「防災教育・命の授業～未来をひらく つながる命 つなげる命～」というタイトルで行われた平塚真一郎校長先生の講話でした。前半は、地震がどのようなメカニズムで起きるのかを、新年に起きた能登半島地震の様子を重ねながら、その原因や要因と考えられるものを子どもたちに問いかけながら話をされました。後半は、東日本大震災により宮城県内を受けた被害の様子と小学校6年生で尊い命を亡くした娘さんについて話されながら、自分の命を守ることを最優先に考えて行動することの重要性や今生きていることに感謝する意味などについて、プレゼンテーションを使ってわかりやすく示してくださいました。

平塚真一郎校長先生が繰り返し子どもたちに伝えられたことは次の通りです。

- ◇私たちは、災害と災害の間に生きている。ニュースで「数十年に一度の〇〇…」という言葉をよく耳にするが、これまでの防災の常識が通用しなくなりつつある現状を理解したい。
- ◇いざという時に家族で話し合っておきたい3つのこと。①マイ避難（どこに逃げるか）  
②避難スイッチ（いつ逃げるか） ③持っていく物（何を持っていくのか）
- ◇地震の時に意識する3つの「ない」。①落ちてこない。②たおれてこない。③移動してこない。
- ◇生きていることに感謝する心を忘れないでほしい。家族、地域、学校、仲間のみんなに支えられて今を生きている、今ある命を大切にする。
- ◇命はみんながつないでいくもの、「つながる命、つなげる命」の意味を深く受け止め、みんなの今日の学びが未来の命を救うということを信じて進んでほしい。

平塚校長先生の講話の後、4～6年生は各教室で「平塚校長先生の講話から学んだこと」という学級活動の授業を行いました。4年生は、平塚校長先生の話やこれまでの社会科の学習を振り返って、マイ・タイムラインを作成し、自分自身がとる防災行動を時系列的に整理し、避難することができるように考えました。5年生は、全員で校内を探検して、教室や廊下、特別教室などの危険箇所を把握した上で、避難する際の自分たちの行動や自分だけでなく低学年の子たちと一緒に避難する際の行動について考えました。

6年生は体育館で「平塚校長先生の講話を聞いて一番心に残った言葉」というテーマでグループディスカッションをし、防災について大切なことを確かめました。

〔 平塚真一郎校長先生の講話、防災教育・命の授業の様子 〕



〔 4年1組 〕



〔 4年2組 〕



〔 4年3組 〕



〔 5年1組 〕



〔5年2組〕



〔5年3組〕



〔5年4組〕



〔6年1組〕



〔6年2組〕



〔6年3組〕